

てんだあ

11

2024

vol.64

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。



この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

特集

地域を支えるたすけあい活動

お互いさまで いきいき元気

南房総市社会福祉協議会

関子通第1号
南房総市社会福祉協議会
有償運送車両

CONTENTS

- ◆特集 地域を支えるたすけあい活動… 2P・3P
- ◆特集 生活困窮者自立支援制度…………… 4P
- ◆ふくしニュース…………… 5P
- ◆ボランティアネットワーク…………… 6P
- ◆掲示板…………… 7P
- ◆善意の寄附・お知らせ…………… 8P

地域を支える たすけあい活動

「人生100年時代」と言われるなか、年齢や性別・障がいの有無などに関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の実現が目指されています。そこで今回は、身近な地域のつながりについて、社会福祉協議会で行っている住民参加によるたすけあいのサービスの協力者の声を交えながら考えてみたいと思います。

公共交通機関の利用が困難な方の通院や買い物などの移動を支援するボランティア移送サービス。藤井芳彦さんは民生委員として活動していた時にサービスを知り、6年前から



運転ボランティアとして活動しています。毎月2回ほどの活動では、営業職として勤務していた経験を活かしながら利用者との会話を楽しむことを心掛けているそうです。また、気になることがあれば相談先を紹介したりするほか、藤井さんにとっても地域のことを改めて知る機会にもなっているとのこと。

「地域のつながりや、相手のことを気にかけるということが少しずつ少なくなっているなかですが、自分ができることを続けています」と話す藤井さん。送迎を終えた時に利用者からも「ありがとう」の一言が活動の原動力となっています。



生活のちよつとした困りごとや家事などのお手伝いをするみなみん・おたすけサービス（生活援助サービス）のボランティアとして活動する明田朋子さん。都内から南房総に移住して数年が経ち、自分の住む地区

以外の方とも親しくなっていきたいという思いから活動を始めました。主に行っているのはゴミ出しの手伝い。ゴミ収集の日にあわせて利用者宅を訪問し、預かったゴミをゴミステーションに出します。

地域によりますが、ゴミステーションまでの距離が遠く、ゴミ出しに苦労されている方からの依頼が増えています。「近所での普段のたすけあいはもちろん、その他にも地域でこのような仕組みがあることを多くの人にもっと知って活用してもらいたいです」と話す明田さん。地域の方々が住み慣れた場所で一日でも長く健康な生活が送れるよう、今日も活動を続けています。

今回お話を伺ったお2人に共通しているのは、活動を行うなかで様々な人とのつながりができていくことが楽しいということでした。「コロナ禍を経て、人とのつながりのあり方や、地域の様々な活動が変化しつつある今、皆さんも改めて近所や地域でのたすけあいや「困ったときはお互いさま」の関係について考えてみてはいかがでしょうか。

社会福祉協議会で行っているささえあいサービスのご紹介

ボランティア移送サービス

運転協力者（ボランティア）により、公共交通機関の利用が困難な方の通院や買い物などの移動を支援するサービスです。

▶対象者

南房総市に住所がある方で、次の(1)と(2)いずれにも該当する方

- (1) 介護保険の要介護者・要支援者、身体障害者手帳をお持ちの方、またはその他高齢者など公共交通機関を一人で利用するのが困難な方
 - (2) 本人が自家用車を所有していない、または免許を返納している方
- ※同居家族のなかに自家用車を所有している方がいる場合、サービスの利用は月に1回までとなります。

▶利用できるエリア

南房総市内および安房地域

▶利用時間

月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時まで（祝日・年末年始を除く）

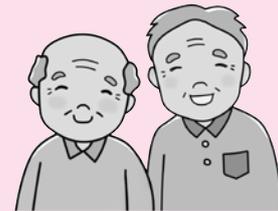
▶利用料金

種 類	料 金
距 離 運 賃	利用者宅から目的地までの往復距離 1 kmあたり 35 円
時 間 料 金	利用者宅出発から利用者宅帰宅までの時間 当初 30 分 350 円 以降 15 分毎に 175 円
迎 車 料 金	1回あたり 300 円

利用者の声

運転免許を返納し通院の手段に困っていたところ、知り合いにサービスを紹介されて利用を始めました。

足腰が弱り電車やバスでの移動が難しいので助かっています。また、運転してくれるボランティアの人は同じ地域に住んでいる方が多いので話しやすいし、安心できます。



みなみん・おたすけサービス (生活援助サービス)

地域にお住まいのボランティアが、日常生活の困りごとを抱えている高齢の方などへ生活を支援するサービスです。

▶対象者

南房総市に住所がある方で、日常生活の支援や援助を必要とする65歳以上の高齢者・障がいのある方

▶利用できる内容

話し相手、衣類の洗濯や整理、住居の清掃やゴミ出し、生活用品の買い物代行、簡単な調理の手伝いなど

※特に技術や資格を必要としない日常生活のお手伝いです。

▶利用料金

15分につき175円

※買い物代行の場合は、利用料の他に200円がかかります。

利用者の声

週1回ゴミ出しをお願いしています。現在自宅で一人暮らしをしているのですが、ゴミステーションまで遠く、重いゴミ袋を持って歩いていくのが大変だったので、とても助かっています。



サービスの利用・協力に関する問い合わせは…

○富浦・富山・三芳地区の方

内房支所 ☎ 36-2276

○白浜・千倉・丸山・和田地区の方

朝夷支所 ☎ 44-3541

生活のこと、仕事のこと、一人で悩まず 相談してみませんか？

(生活困窮者自立支援制度のご紹介)

近年の景気低迷の影響も重なり、働く場をなくしたり、収入が減ったり、家計が苦しいなど、生活のことでお悩みはありませんか？

南房総市社会福祉協議会が行っている、生活困窮者自立支援制度の相談窓口では、日々の生活のこと、仕事のことなど専門の相談支援員が現状をうかがいながら、解決に向けたお手伝いをします。

一人で悩まずに、どのようなことでも結構ですので、まずはご相談ください。

例えばこのようなことで困ってはいませんか？

家計のやりくりが
うまくできない



しばらく働いて
いないから不安



引きこもった
家族が心配



債務が多くて
生活が成り立たない

など



【事例1】60代男性 1人暮らしの場合

定年まであと数年だったが、体調を崩し早期退職。現在は障害年金を受給している。勤めている時からクレジットカードを利用し、リボ払いで返済している状況だった。体調を崩した時には生活費が足りず、さらに別のカード会社からクレジットやキャッシング等を利用したため借金が増え、今は毎月返済に追われている。

預貯金も底をつき、通院もできない状況。相談できる兄弟はいるが金銭的な支援は難しいので、今後どうやって生活して行ったら良いのかと相談されました。

相談支援員の対応

家計改善支援事業を利用し、自分が毎月何にいくら使っているのか等家計の現状を確認します。

生活の安定・維持のためにどうすべきか、必要があれば滞納や債務について適切な対応ができる専門機関へつなぐなど、相談者が自立した生活が送れるよう支援します。

【事例2】60代夫婦と30代息子の3人暮らしの場合

夫婦は長年勤めた会社を退職後、年金を受給できる年齢となり、今は2人とも年金で生活をしている。

息子は高校卒業後、大学に進む途中で辞めて実家に戻りアルバイトをしていたが長続きせず、友人との関わりも少なく家に居ることが多いため、親としては今後の息子の生活が心配になっている。

息子に就職活動の話をして「自分で探してみる。」など返事はあるが、働いていなかった期間も長くなり不安があるのか、なかなか行動に移す様子がなく困惑していると相談されました。

相談支援員の対応

まずは相談者より本人の生活状況などお話を伺い、課題を整理します。仕事をすることに不安を感じていればハローワークへの同行や就労支援員と一緒に本人がやりたいことや興味があることを相談しながら、パソコンの操作や履歴書の書き方、面接の練習など就職に向けての支援を行っていきます。

【問合せ・相談先】

南房総市社会福祉協議会（本所）または、内房・朝夷支所

受付時間：月曜日から金曜日（祝日除く）午前9時から午後5時まで

※ご相談は無料で、相談内容の秘密は守ります。

※南房総市が生活困窮者自立支援法に基づき、南房総市社会福祉協議会に運営委託している相談窓口です。

8月6日

く地元の美味しいものを食べましょう

富山地区社会福祉協議会

『富山地区社協食堂』

富山学園の先生との意見交換で「夏休みで給食が無く、コンビニ弁当などを食べる機会も増え、生徒や保護者は昼食に困るのではな
いか？」との話があり、子どもたちに手作りのお昼ご飯を食べてもらおうと『富山地区社協食堂』を開催しました。



おいしくできました！

当日は、委員が持ちよった地元の食材を生徒の皆さんと一緒に調理し、昼食が完成。参加者からは「楽しかった。家でも作ってみる。」などの声があり、実際に家族に作った生徒もいました。また、委員からは「孫と交流しているような気持ちで楽しかった。」といった感想が聞かれました。

今回は中学生を対象に夏休み期間中1回の開催でしたが、これから対象者や回数を増やすなどみんなで話し合い、地域の子どもの食の支援につなげていきたいと思えます。

9月26日

く地域の皆さんと一緒に楽しいひと時を

白浜地区社会福祉協議会

『根本高齢者のつどい』

根本地区の70歳以上の方21名が参加し、高齢者のつどいを開催しました。

滝口の駐在さんと千倉交通安全協会の方から、自転車利用者のヘルメット着用の大切さを学びました。「自転車に乗る時は、今度からヘルメットを付けないといけないなあ」とヘルメットの購入を検討する声が早速、聞かれました。

また、館山市で活動されている「劇団あおいSOLA」による房州弁での紙芝居や、市保健師と栄養士からはフレイル予防の講話と、いきいき100歳体操をして手や足を動かしました。

最後にみんなで白浜音頭を踊り楽しいひと時を過ごしました。「サノエヨホエト」と曲が流れると昔取った杵柄。みな自然と曲を口ずさみ、「今日は、久しぶりに楽しかったよ」と笑顔があふれました。

白浜町内他の地区でも開催を予定しています。地域の皆さん、楽しみにしてください。



みんなで白浜音頭を踊りましょう！

9月10日・28日

く大規模災害に備えて

災害ボランティア養成講座

市内の民生委員・児童委員、

地区社会福祉協議会委員、ボランティアなど約50名が参加し、災害ボランティア養成講座を開催しました。

1日目の基礎講座では講師の公益社団法人SL災害ボランティアネットワークの天寺氏による災害ボランティアの基本的な役割についての講義と、能登半島地震で被災地災害ボランティアセンターの運営支援に派遣された職員からの報告を行いました。

2日目は職員も参加し、運営スタッフ役、駆け付けボランティア役に分かれ、実際の災害ボランティアセンターを想定した訓練を実施。参加者は「この活動にはこんな道具が必要だよね」「こういうところに気をつけよう」など真剣な表情で話しながら活動に取り組みました。

全国各地で様々な災害が発生するなか、訓練の振り返りを行うとともに、いつ起こるか分からない大規模災害への備えを進めていきます。



活動に必要な道具を準備中



ボランティアネットワーク

社会福祉法人 千葉いのちの電話 第36期電話ボランティア相談員募集

1. 応募資格

- ①年齢 20 歳以上（令和 6 年 4 月現在）
- ②資格・経験不問
- ③基礎研修講座と宿泊研修に出席できること

2. 研修期間

令和 7 年 4 月 2 日～令和 8 年 3 月 21 日

3. 受講料 有料

4. 申込締切

12 月 20 日（水）

当日消印有効（応募用紙あり）



◎問い合わせ・申し込み先

社会福祉法人 千葉いのちの電話 事務局
（月～金 9:00～17:00）

☎ 043-222-4416

市ボランティア連協

ボランティアまつりを開催します

南房総市ボランティア連絡協議会では、下記の日程でボランティアまつりを開催します。当日の内容の詳細は、1月中旬頃に社会福祉協議会ホームページ、回覧板などでご案内予定です。

▶開催日

令和 7 年 2 月 8 日（土）

▶場所

みよし交流館（南房総市千代 4）

▶内容（予定）

ボランティア団体による活動紹介、活動発表、バザーなど

皆さまのご来場をお待ちしております！



ボランティア体験

毎年恒例の夏休み期間を活用したボランティア体験。今年度は小学生から高校生約 50 名の参加があり、清掃活動、サロンボランティア、収集ボランティア、施設ボランティアなどのなかからそれぞれが希望した体験先で活動を行いました。

参加者からは、「最初は緊張したけれど、楽しかった」「『またきてね』と言われてうれしかった」「今度は違うボランティアも体験してみたい」などの感想がありました。

参加した子どもたちがボランティアに興味や関心をもち、自分たちのできることから始めるきっかけとなればうれしいです。

施設
ボランティア



お達者
サロン



海岸清掃



収集
ボランティア



掲示板



ゆめを追いかける君へ 教育支援資金

教育支援資金は、低所得世帯を対象に、高校・高専・短大・大学へ進学する際に必要な経費および在学中にかかる諸経費として借りることができる資金です。

教育支援費（授業料の貸付）

対象となる学校	貸付限度額
高等学校 (中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、専修学校高等課程含む)	月額 35,000 円以内
短期大学 専修学校専門課程 高等専門学校	月額 60,000 円以内
大学	月額 65,000 円以内

就学支度費（入学に際し必要な経費の貸付）

対象となる学校	貸付限度額
高等学校、大学、短期大学、専修大学、高等専門学校	500,000 円以内

※就学支度費の受付は入学時のみ

- 本資金は低所得世帯を対象としており、就学する本人が借受人となる貸付制度です。
- 民生委員・児童委員が継続して相談支援を行います。
- 他制度（奨学金、母子父子寡婦福祉資金等）が利用できる場合はそちらが優先になります。
- 貸付にあたっては審査を行います。

KDDI 株式会社から寄附

南房総市千倉地区で「千倉海底線中継所」を運営する KDDI 株式会社南関東総支社からご寄附をいただきました。

KDDI 株式会社では、社員の皆様が社内外で行ったボランティア活動をポイント化し、慈善団体等へ寄附する「+αプロジェクト」を実施されており、本会への寄附は 5 年目となります。

7 月 11 日に贈呈式が開かれ、南関東総支社の加藤友一総支社長から目録が贈呈されました。

お預かりした寄附金は、福祉教育プログラムで活用する「高齢者福祉疑似体験キット」の購入に活用させていただきます。

ありがとうございました。



加藤総支社長（左）から目録を受け取る渋谷会長（右）



赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いいたします

～皆さまから寄せられた募金が地域のチカラとなり地域を支えます～

今年も 10 月 1 日から全国一斉に共同募金運動が始まりました。「困ったときはお互いさま」の精神から始まった赤い羽根共同募金。こんな時だからこそ、南房総市を良くするために、困っている人たちを支えるために地域の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金は南房総市の福祉に役立てられています。



- ◎福祉車両整備事業
- ◎生活支援担い手養成講座
- ◎災害ボランティアセンター 資材整備事業
- ◎社会福祉大会
- ◎紙おむつ給付事業
- ◎広報紙「てんだあ」の発行
- ◎福祉作文コンクール
- ◎ホームページ運営
- ◎絵本贈呈事業
- ◎社協広報活動事業





善意の寄附

敬省略/令和6年6月~令和6年9月

○福祉振興基金

舞花カラオケ愛好会

20,000円

この寄附金は、本会基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。

匿名(3件)

68,326円

たくさんのまごころありがとうございました。



information

紙おむつ給付事業

▶対象者

- ・在宅で一日中ベッドで過ごされ、日常生活のほとんどに介助を要する要介護認定3・4・5の方
- ・身体障害者手帳(1・2級)をお持ちの方
- ・精神保健福祉手帳(1・2・3級)および療育手帳(A・B)をお持ちの方

▶給付金額

1回あたり税込5,000円以内
※要介護3の方は税込2,500円以内

▶給付回数

年4回

高齢者介護用品支給事業

▶対象者

- ・65歳以上で在宅の要介護認定4・5の方、介護されているご家族
- ※要介護高齢者の属する世帯全員の前年度分の市民税が非課税であることが必要

▶給付金額

1回あたり税込25,000円以内

▶給付回数

年4回

無料法律相談

司法書士が相続などの相談に応じます。

開設日	場 所
12月19日	ちくら介護予防センターゆらり
1月16日	三芳農村環境改善センター
2月20日	ちくら介護予防センターゆらり
3月19日	三芳農村環境改善センター

▶時間

午後1時~午後4時40分

▶定員

5名(相談はおひとりにつき40分まで)

▶受付

前月の開催日翌日から電話にて予約を受け付けます。

▶その他

調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。
弁護士による相談は他の機関を紹介します。

▶申し込み

本所 ☎29-3729

福祉車両貸出事業

車いす対応の軽車両(スロープ式)を無料で貸し出します。

※燃料代は自己負担です。返却時に使用した燃料の補給をお願いします。

※ご利用の際は事前にお電話で空き状況をご確認ください。

福祉機器貸出事業

高齢の方や障がいのある方などへ車いすを無料で貸し出します。

▶貸出期間

6ヶ月以内

訪問理髪サービス事業

訪問理髪サービスにかかる費用を助成する給付券をお渡しします。

▶対象者

下記のいずれかに該当し、在宅生活で理美容店に出向くことが困難な方

- ・要介護認定4・5の方
- ・身体障害者手帳の下肢または体幹機能障害の程度が1・2級の方
- ・その他同程度の障がいのある方

▶助成額

理髪サービス1回あたり3,000円
※申請月によりお渡しする給付券の枚数が異なります。

— 発行・編集 —
(各種申込先)

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市谷向 109-1

☎29-3729

FAX 36-2261

◆内房支所 南房総市谷向 109-1

☎36-2276

◆朝夷支所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3541

南房総市社協

🔍 検索